

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	かおり之園 『さん』	公表日	8 年 3 月 23 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		適切である。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用児の支援課題に特化して、クラスによつては1対1で対応している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		視覚支援によりわかりやすく配慮した環境を心掛けている。	建物が2階のため、身体面でのバリアフリー化は難しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清潔で心地よく過ごせる環境を意識している。至温、加湿、空気清浄と体調管理にも配慮している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別対応ができる環境がある。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		スタッフ全員が参加できるように心掛けている。	経験年数による知識の違いなのか、個人の性格なのか意見を出しにくいスタッフの姿がある。外部・内部研修やケースカンファレンスを通して、各自学びを深められるよう配慮が必要である。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年アンケートを実施しており、結果をスタッフ全員で共有している。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		積極的に意見交換し、情報共有に努めている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			行っていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修情報が提示されており、必要なものを必要な時に受講できる。	興味のある内容の研修会が催されていないため、受講意欲がわからない。様々な団体の情報を入手していきたい。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページにて公開している。	
適切な支援	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		そもそも論として、個別支援計画は相談支援事業所の支援計画を基に案を立てることになっている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの福祉の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		日々支援を行っているスタッフ全員と一人一人の子ども達に対してアセスメントを行い、共通理解をしたうえで児発管が中心となって個別支援計画を作成している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画作成の後全スタッフで内容を共通理解している。その後は各自がいつでも確認できるよう所定の場所で保管し、閲覧できるようにしている。	
	15 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		心掛けている。	
	16 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		チームで相談しながら行っている。また当日中も利用児の状況によって随時設定の展開を行っている。	

17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			スタッフ其々が新奇性を意識して活動計画に取り組んでいる。	新しい教材を感嘆しているが、いざ作成の段階になると時間に余裕がないためなかなか取り組みが進まない。
18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			専門的支援実施を活用した支援を行っている。	
19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			課題に応じた支援を提供するために、内容に応じて集団・個別を計画している。	
20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○			行っている。	
21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			徹底している。記録と合わせて口頭でも情報共有しながら検証・改善に繋げている。	録画面像でも確認できるが、有効利用できていない。
22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			日々の状況共有を通して定期的にモニタリングを行い、スタッフ全体で計画の見直し必要性を確認している。	
23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			児発管が参加している。	
24	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			体制を整えている。	
25	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			関係機関（主に併行通園先や宇治市役所保健推進課、障害福祉課）、並行通園先との情報共有を行っている。	
26	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			訪問する、して頂く、電話にて対応するなど状況に応じた情報共有を行っている。	
27	(27～29は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
28	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
29	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			毎通園時や随園時、また毎月1度保護者が療育場面に参加して貰える時間を設け、情報共有できるよう意識している。	「話ができなかった」と不安を感じる保護者にはこちらからの発信を待たずに、直接保護者の方からも声をかけてもらええるような工夫が必要だった。
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			専門の講師を招いてペアレントトレーニングを提供している。また保護者支援の一環として、外部の相談機関や研修受講等のポスターを提示している。	内容に対して保護者の興味が一致しないこと、勤務状況等で時間に余裕がないことなどからグループ懇談の実施は難しいかと思われる。今後はペアレントの振り返り等を定期的に行っていかねば...と考えている。
32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			新規利用時に説明している。	
33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			適宜計画相談事業所と保護者との会議に参加している。	
34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			児発管から説明を行い同意を得ている。	

保護者への説明等	35 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		当月の予定が出ている時期には来月回して懇談を予定するため、保護者の困り感に『迅速に』と言われると自信がない。
	36 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	37 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	毎日園内のホワイトボードにて活動概要を掲示している。予定や連絡体制等はホームページや園だより『ふくいく』、ならびに園内にてお知らせしている。	毎月の園だよりURLを載せているが、ホームページの存在自体を知らない保護者がいることに驚いている。また園だよりに諸連絡等掲載しているが確認いただいていないケースも多い。
	38 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	39 贈言のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	通園児、保護者共に視覚的な伝達方法を意識して情報を発信している。 外国語の保護者とは翻訳機能等も利用しながら対応している。	
	40 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	マニュアルは所定の場所に掲示し、適宜各自が確認できるようにしている。利用児用の避難訓練（毎月実施）とは別に、スタッフ研修として実地訓練を行っている。	
	41 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		
	42 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な指書を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	適宜内部研修を行っている。	
	43 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	直接関係者からの報告と、報告書の回覧を通して全スタッフで情報共有している。	
	44 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	適宜内部研修を行っている。	虐待防止に関する研修を受けたいが、事例対象が成人の障害者や高齢者ばかりで幼児・児童対象の情報が上がってこない。是非とも企画をして欲しい。
	45 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	毎年内部研修を行っている。身体拘束について事項は決定しているが、対応が必要となる利用児はいない。	

非常時等の対応

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 かおり之園 「さん」

公表日 2023年3月13日

利用児童数 32人 (30世帯)

回収数 27

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	1	0	0	・毎週おもいっきり身体を動かして楽しんでる ・静かな遊びもダイナミックな遊びも子どもがのびのび活動できている	・ご意見を踏まえた対応
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	0	1	0	・職員の数が多くて安心 ・一年に一回の発達検査をしてもらえない ・いい 理字・作業療法士がいらない ・いつも先生が子どものそばにいて下さっています	発達検査員や理字、作業療法士の確保が困難である旨の事情を月紙にて説明しました。
	3 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	25	1	1	0	・建物が古くて暗い ・トイレも活動の部屋もろろかともともきれいです	
	4 保護者のニーズ（計画相談）に応じた課題が児童発達支援計画（個別支援計画）に反映されていると思いますか。	27	0	0	0	・定期的に相談させていただいている ・相談内容をいつも分かりやすくまとめ下さっています	
	5 児童発達支援計画には具体的な支援内容、5領域を意識して設定されていると思いますか。	26	1	0	0	・相談内容をいつも分かりやすくまとめて下さっています ・ニーズは聞いてくれるがもう少し変化がある支援をして欲しい ・子どもの成長を感じています	療育は積み上げが大切だと考えています。繰り返しの中でも子ども自身がやってみよう！できた！嬉しい！と思えることが療育での目標です。支援内容や関わりはその都度必要なものを検討・実施していますが、ご希望があれば取り入れて実施することも検討するのでご意見をお聞かせください。
6 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1	0	1	・去年も今年も同じ時間帯の利用のため ・色々なあそびをさせていただいている ・今日は何の遊びかな？とわくわくして登園しています		
7 活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	0	1	1	・必要に応じてという感じ ・親子共々お世話になっている ・通所はしめに勉強会があった ・ペアトレを受けとても勉強になりました	懇談の申し込み込みを随時受け付けています。お声掛けください。	
8 保護者に対して懇談や家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われていますか。	25	2	0	0	・伝えてくれる先生もいるが日頃の様子など ・他の方と話されていて様子を聞けないこともある ・帰る時その日の様子を教えて頂けるのでありがたく思います	参観や懇談もできますのでご利用ください。	
9 日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	25	2	0	0	・すぐ対応してください ・ホームページがないので今日どんな事したかなど職員の方たちも伝えきれないと思うので作ってほしい ・園日より楽しみにしています ・ふくいくで色々な情報を知れています	平成26年度よりホームページを開設しています。毎月『ふくいく』にアドレスを記載していきますのでご確認ください。	
10 保護者からの相談や申入れについて、迅速かつ適切に対応されていると思いますか。	26	1	0	0	・はい		
11 定期的な園だよりやホームページ等で、予定や行事、連絡体制等の情報が保護者に対して発信されていますか。	25	1	1	0	・遊具訓練の様子を家で子どもが教えてくれます	子ども達が楽しんで通園してくれているよ うこれからも課題内容の検討や関わりを大切にしています。	
12 個人情報取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0			
13 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に遊具訓練が行われていますか。	25	0	0	2			
14 子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	1	0	0	・時々行ききたがらない ・とても楽しみにしている ・いつも楽しみにしています		

15	<p>15 事業所の支援に満足していますか。</p>	23	3	1	0	<p>・年に一回発達検査をしてもらいたい ・発達検査の頻度が少なくなかった ・写真販売もない（なくなかった）、発達検査もない、専門性もない 近々だから通っているが年々満足度がなくなっている。子どもが楽しく行っているのが良い ・とても満足しています！</p>	<p>発達検査については上記参考。 写真販売については利用される方が軒並み減ってきたことや、個人情報保護の観点から抵抗がある旨を申し出られる方が増えたこと等により停止しました。 指導員は保育士、児童指導員で構成しています。専門家はいませんが外部研修、内部研修等にて各自学びを重ねています。専門性をご希望される方は専門機関をご利用ください。</p>
----	----------------------------	----	---	---	---	--	---

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かおり之園 『さん』		
○保護者評価実施期間	8 年 1 月 5 日	～	8 年 1 月 19 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	27
○従業者評価実施期間	上記に同じ	～	上記に同じ
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	8 年 2 月 4 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフのチームワークがよく、情報共有がスムーズに行えている。常に声を掛け合って共感性・協調性を大切にしながら利用児の支援を行っている。	日頃から過ごしやすいと思えるような空気を意識している。ミーティング中は全員が意見を出せるよう、全体への声掛けを大切にしている。	個々が学びを深め、更にお互いに学び合える・尊敬しあえる関係性であることが望まれる。
2	スタッフ全員が利用児を第一に考えて支援を行っている。楽しく過ごせるよう、また課題や困り感を改善していけるよう真摯に向かい合っている。	上記同様 加えて、自分たちはよく頑張っている！と自分たちで自分たちを褒め合い、達成感を得られるような時間を大切にしている。支援者が元気でないと支援にエネルギーが注がれない！ただ驕り過ぎないように・・・	自発的に『学びたい！』『力をつけたい！』と思える環境作り？！
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間がない。挑戦してみたいことや作りたい教材、検証したい事案や内部研修テーマがあるが、日々やらなければいけないことで手いっぱいになって、なかなか時間が作れない。	どれもこれも抱えすぎて、優先順位がつけられない！？！優先順位を決めて取り組み、各自の時間の使い方を振り返る必要がある。	スケジュール構成の見直し。 省路できること、短縮できることを検討し、本来に必要な物の優先順をあげる。
2	情報発信の弱さ。ホームページは平成26年から始まり今が2代目。園だより『ふくいく』は創園当初より発行し、それぞれの役割を果たすべく精進していますが、アンケートによりまだ存在自体を知らない保護者がいることに驚き！懇談申し込みを含め、大切なことはちゃんと確実に伝えていきたい。	必要な情報は自ら選択するという時代の中で、『見てみたい』という保護者の興味を惹くことができていない。 連絡事項等は視覚的に目につきやすいよう口頭&張り紙で知らせているが、一定の伝え方では認識しにくい方がいるのかも知れない。	ただ一方で発信にも限界があるため、割り切った対応も必要なのでは？という気もする。
3			